

# 【10月・0歳児・高月齢】

ほいくのおまもりプラス

	Aさん(高月齢/男児/活発) (1歳6カ月/4月生まれ)	Bさん(高月齢/女児/活発) (1歳5カ月/5月生まれ)	Cさん(高月齢/男児/静か) (1歳4カ月/6月生まれ)	Dさん(高月齢/女児/静か) (1歳3カ月/7月生まれ)
子どもの姿	<ol style="list-style-type: none"> <li>午睡時には自ら布団に向かう姿が見られるが、決まった保育者以外にトントンされることを嫌がり、怒る様子が見られた。</li> <li>気に入った絵本をくり返し読んでもらいながら、声を出して指差しをしたり、言葉をまねて楽しんでいった。</li> <li>延長保育が始まり、部屋の移動や関わりが少ない保育者の存在に不安な様子も見られたが、保育者に遊びに誘われると興味を示し、安心して玩具で遊び始める姿があった。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>オムツ交換の際に、保育者に「トイレに座ってみる？」と声をかけられると、少し緊張した表情を見せながらも応じていた。</li> <li>戸外では、ボールやシャボン玉を追いかけたり、ベンチや遊具によじのぼろうとするなど、興味のあるものに積極的に関わろうとする姿が見られた。</li> <li>戸外遊びへの期待から、簡単な身支度への意欲が高まり、靴下や帽子の着脱に自分なりに取り組もうとする姿が増えてきた。</li> </ol>		
ねらい	<ol style="list-style-type: none"> <li>安定した生活リズムの中で、安心して休息を取る</li> <li>簡単な言葉を使いながら、保育者とのやり取りを楽しむ</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>トイレに親しみをもち、便器に座ることに少しずつ慣れる</li> <li>戸外での探索を通じて、秋の自然に親しむ</li> </ol>		
内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>食後の満足感を味わいながら布団に向かい、保育者に見守られる中で、心地よく入眠する。</li> <li>絵本を読んでもらいながら、簡単な言葉をまねたり、指差しで表現する発見や思いを丁寧に受け止めてもらい、伝わる喜びを味わう。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>保育者に見守られたい体を支えてもらいながら、安心して便器に座る。</li> <li>保育者と一緒に公園内を探索し、ドングリや松ぼっくり、落ち葉に触れて、感触や音の面白さを味わう。</li> </ol>		
環境構成 配慮 援助	<ol style="list-style-type: none"> <li>食後に午睡に誘う際は、「たくさん食べたね」「おいしかったね」と優しく声をかけることで、満足感を味わいながら布団へ向かえるように関わる。入眠の援助は、できるだけ決まった保育者が安定して行えるよう職員間で連携し、本児が落ち着いて眠れる環境を整える。</li> <li>落ち着いた雰囲気の中で、一対一で絵本を楽しみ、簡単なくり返しの言葉をまねしようとする姿を温かく受け止め、楽しさを共有する。また、指差しや本児なりの言葉で思いを表現しようとする姿には、「そうだね、○○がいるね」「笑っているね」などと丁寧に言葉を添えて応じ、やり取りの楽しさを感じられるように関わる。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>オムツ交換時やオムツが濡れていないタイミングで、「トイレに座ってみようか」と優しく誘う。本児の様子に応じて手をつないだり体を支えたりしながら、安定して座れるよう配慮し、嫌がる場合は無理強ひせず、「また座ろうね」と伝えて次の機会につなげる。</li> <li>探索を始める前に、木の棒やゴミ、タバコの吸い殻などの危険物が落ちていないかを確認し、安全に配慮する。一緒に探索を楽しむ中で、本児の発見を丁寧に受け止めるとともに、木の実や落ち葉に触れて見せながら、「ツルツルするね」「カサカサ音がするね」など、感触の面白さを言葉にして伝え、自然物に対する興味を育んでいく。</li> </ol>		
食事	<p>(完了食)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>よく噛まずに飲み込みやすいため、保育者が咀嚼する様子を見せ、まねできたときには「モグモグできたね」と声をかけて認め、噛む習慣が身につくように関わる。</li> <li>保育者に食べ物分けようとする場面では、本児の気持ちに寄り添い、食べるしぐさをして応えながら、一緒に食べる楽しさを感じられるようにしていく。</li> </ul>	<p>(完了食)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スプーンを使おうとする姿を大切に、食べにくそうな場面ではさりげなく手を添えて援助しながら、徐々に慣れていけるようにする。</li> <li>苦手な食材があるときには、保育者が食べて見せたり、食材にちなんだ歌を取り入れて興味を引き出しながら、楽しく食べられるように関わる。</li> </ul>		
家庭との連携	<ol style="list-style-type: none"> <li>延長保育で楽しく過ごした様子を丁寧に伝えることで、保護者の不安を和らげていく。</li> <li>保育時間が長くなることで生活リズムが乱れたり、疲れが出やすくなるため、家庭とこまめに情報を共有しながら、体調の変化に留意する。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>身支度に意欲的に参加する姿を丁寧に保護者に伝え、家庭でもゆったりとした気持ちで見守ってもらえるよう働きかけながら、意欲を育んでいく。</li> <li>保護者参加の行事について、持ち物や活動内容などを文章と口頭の両方でわかりやすく伝え、安心して参加できるよう配慮する。</li> </ol>		
評価・反省	<ol style="list-style-type: none"> <li>決まった保育者に見守られることで安心し、トントンしてもらわずに自分で入眠できる日も増えた。今後も安心感を育む関わりを続けながら、様子を見守っていく。</li> <li>絵本の中で知っているものを見つけると、指差しをしたり「ワワ(ワンワン)」「ププ(プープ)」などと言葉で伝えようとする姿が見られた。本児の言葉を丁寧に受け止め、応答的に関わりながら言葉の発達を促していく。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>タイミングが合い、便器に座った際に排尿できることがあった。今後も焦らずに声をかけながら、少しずつトイレ習慣につなげていきたい。</li> <li>様々な自然物を拾って保育者に見せたり、保育者が見つけたドングリや松ぼっくりに興味を示して嫌がらずに触れるなど、十分に探索を楽しむことができた。徐々に日中の気温が低くなってきたため、衣服の調整に配慮し、快適に散歩や戸外遊びを楽しめるようにする。</li> </ol>		

無料版：2名分  
↓  
有料版の  
"おまもりプラス"  
は12名分が  
閲覧&DL可能！

子どもの姿の1, 2は『ねらい/内容/環境構成/配慮/援助/評価・反省』、3は『家庭との連携』と連動しています。

敬称と性別表記: ウェブサイトに当社方針を記載しております。

# ほいくのおまもり **Plus!**

## ダウンロードのお礼とおまもりプラスについて

この度は個人案をダウンロードいただき、ありがとうございます！

ほいくのおまもりプラスでは、**性別／タイプ別／月齢別の12名分の個人案（0,1,2歳児）**をご用意しています。更に・・・

- **無料版の2倍の月案文例**
- 丸1ヶ月分の月～金の全ての週案
- 毎月45個の製作型紙
- 毎月2つのスケッチブックシアター
- その他、会員だけのコンテンツ

これだけ揃って、**月額980円+税**の大特価！気になる人は、以下からおまもりプラスのサービスを確かめてみてくださいね。



## 文例ご利用時の注意事項

- 提供される文例は、一般的なケースを想定して作成されています。ご自身の具体的な状況やニーズに合わせて適宜修正を加えてご利用ください。
- 文例の利用によって生じたいかなる結果についても、当サービスは責任を負いかねます。自己責任においてご使用ください。
- 文例は参考としてのみご利用いただき、直接のコピー＆ペーストではなく、ご自身の言葉で表現を加えることをお勧めします。
- 法的な文書や重要な契約に関する文面は、専門家のアドバイスを受けて作成することをお勧めします。
- 文例の著作権は当サービスに帰属しています。無断での再配布や商用利用はご遠慮ください。